



まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声が室内を暖かくしてくれます。寒さで長時間は戸外に出られない日もあると思いますが、陽の当たる時間帯にテラスや園庭に出てあそびたいと思っています。

空気の乾燥が気になる時期ですので、保育室内に設置している室温計、湿度計とCO2測定器の数値を確認しながら、こまめに空気の入替えや加湿を行い、快適な空間をつくるようにしています。季節の変わり目は、体調を崩しやすいので、風邪やインフルエンザなどの感染症予防に充分配慮しながら、引き続き子どもたちの様子を見守ってまいりますので、ご家庭での健康管理をよろしくお願いいたします。



こどもの姿

- ・自立心が芽生えてきた子どもたち「〇〇ちゃんがやる！」となんでも自分でやろうとしています。難しい時にはさり気なく手助けをしながら、できた時には「できたね」と喜びを分かち合っています。
- ・子どもたちだけでごっこ遊びやままごとをして、お友だちとの関わりをもってあそんでいます。保育者以外との関係性もち、子どもたちの世界はどんどん広がっていくのでしょうか。

～エピソード～

食後に着替えをしている二人の子の姿がありました。「〇〇ちゃん、おきがえしましょう」「うん」「いっしょにする?」「ねえ、どのふくにする?」「おはなにする!」と可愛い声がしました。その会話のやりとりを聞いていると、保育者が子どもたちに掛けている言葉の会話にとっても似ていてびっくりしました。

節分のおに制作

“鬼は外、福は内…”と歌いながら節分の鬼のお面を作りました。

鬼のクルクルとした髪をカラフルな花紙を使い表現しました。どの色にする?と保育者が声をかけると『あか』『あお』『ピンク』と好きな色を選び、『おにぎり』『ボール』『ぎゅーっ』など声を出しながら紙を両手で握って丸めました。その紙を皿に入っているのりに、ちょんちょんとして貼り付けました。

鬼の顔の色も自分で選び、目鼻口をつけました。〇〇ちゃんの目はどこかな『ここ』と自分の目を指さして、鬼さんの目はどうしようと話をしながらペタリと貼り付けていました。髪や顔の色表情など、個性豊かで素敵な作品となりました。

電車を見てきました

寒さなんて、へっちゃら!! しっかりと防寒をして電車を見に散歩に出かけました。

保育園を出発して道端に咲いた花、飛んでいる飛行機や道行く人にバイバイと笑顔で手を振っていました。大きな道路に出て、みんなの大好きな働く車が通り過ぎると誰からともなく“のりものあつまれ…♪”の歌声が聞こえてきました。道路を渡り電車の走る音が聞こえてくると、子どもたちの瞳がキラキラとなっていました。線路沿いの歩道から電車を見ると、大きな音と迫力と通り過ぎる時に感じる風に、瞳をさらに輝かせて大喜びの子、びっくりして驚き泣きそうになってしまう子もいました。

寒冬を感じたよ

前日に水を張っておいた容器に、薄い氷ができているのを見た子どもたち。初めは何だろうと保育者が手に取っているのを見ていましたが、そーっと手を伸ばし触ると『つめたい』と顔をギュッした後にニコニコの表情となりました。透かして見て『みえたあ』握ってみて『パリッとした』などいろいろと感じたようです。